

学びを生きる力に～授業が基本

令和8年度入学生教育課程表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
第1学年	現代の国語	言語文化	公共	地理総合	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ
第2学年	論理国語	古典探究	歴史総合	政治・経済	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学Ⅱ
第3学年	文学国語	古典探究	政治・経済	地理・探検	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ	英語Ⅲ

本校の「学び」の特徴は次の2つです。

特徴 1
基礎基本の定着と生徒の進路希望に応じた授業展開

Point 少人数指導の実践と多様な進路希望に応じた選択科目の設置
基礎基本の定着が柱。朝授業と国数英を毎日設置し、学習習慣の早期確立を目指す。数学で少人数指導を導入し、つまづき解消から応用力育成まで対応。

2年生 進路希望に応じた選択科目を設置。進路志望を掘りししながら、将来を見据える機会とする。

3年生 進路目標達成に向けた選択群を設置。学び直し科目を設置し基礎基本の確実な定着も図る。

特徴 2
生徒が主体となる教科横断的で探究的な様々な学び

Point 『学校行事』と丁寧な『進路学習』と『総合的な探究の時間』
学校祭・体育祭などでリーダーを経験し、共同体験を通して協調性・公共性・主体性を育成する。
ロングホームルーム・探究学習・プレゼンテーション・表現力育成トレーニング等で、自ら学び考え判断し問題解決する能力を育成。

緑陽賞

家庭学習の習慣化を図り、「粘り強い取組を行おうとする力」、「自らの学習を調整しようとする力」を養うことを狙いとして、家庭学習年間800時間以上を標準とし、最終目標年間1000時間以上の達成を目指します。達成者は学年末に表彰されます。

教員の声



教務部長
中川 智

緑陽高校生は朝学習～授業～自宅学習と、真剣に勉強に取り組んでいます。さらに、部活動へも意欲的な生徒が多いです。勉強を頑張りたい、部活動も頑張りたいみなさん、少しの時間でもよいです。家庭学習を毎日する習慣をつければ緑陽高校に入学してください。
高校に入学することは大切ですが、卒業後の方がはるかに長い人生です。その人生で大切なことは、知力・体力・気力・人間力(自ら考えて行動する・健康な心身・意欲・協力する、協力してもらえぬ人間性)です。緑陽高校「社会人基礎力を育て文武両道の進学校」で3年間積極的に過ごし、この力を得て「幸せな人生」を送ることができるよう全力でサポートします。みなさんの入学を心待ちにしています。



生徒指導部長
水崎 忍

緑陽高校の生徒は、学習・部活動・行事に、一人ひとりが全力で取り組んでいます。特に学校祭や球技大会は、生徒会執行部や学校祭実行委員・体育常任委員が中心となり、生徒自ら運営に関わる場面が多いことが緑陽の特徴だと感じています。多くの仲間と意見を交わしながら、行事を自分達のカで企画・運営し、成長していく姿とても頼もしく感じています。部活動においても、運動部・文化部共に学習との両立をはかりながら、全道・全国の舞台を目指して活動に活動しています。
高校3年間の生活の中で、皆さんが目指す夢や目標に向かい、折れない心で粘り強く努力しなから成長していただけることを期待しています。



進路指導部長
扇 孝之

高校卒業後の進路は中学校とは異なり、多種多様な道があります。みなさんは自分自身でどのような未来を描いているでしょうか。緑陽高校では総合的な探究の時間を通して自分の将来を考え、「なりたい自分」の実現に向けて何を身につけるべきか考えます。自ら考えて行動し、みんなと協力しながら物事を進めていきます。緑陽高校の3年間で「社会人基礎力」を育み、「なりたい自分」になるために、自己を研鑽し、素敵な高校生活を緑陽高校で送ってみませんか。みなさんの入学を心待ちにしています。